



ここの中を見つめよう 博愛を広げるために

ガバナー月信

GOVERNOR'S

R.I.第2760地区

MONTHLY LETTER 2011-2012



名古屋城(名古屋市) 画 石原ミチオ

ガバナーメッセージ	2
追悼記念週間	3
チャーター便で飛ぼう バンコクへ	3
ロータリー理解推進月間によせて	
R.I研修リーダー 中村靖治	4
2011～2012年度 I.M開催予定	5
地区大会を無事終えて	6
地区大会を終えて 大会実行委員長 高村博三	7
ガバナーノミニ一挨拶	8
2012～2013年度ガバナー補佐紹介	8
お知らせ	
第1回 地区内広報・雑誌委員長会議報告	9
地区指導者育成セミナー報告	9
第3回 地区諮詢委員会報告	10
第1回 ガバナー補佐会議報告	10
犬山RC創立50周年記念式典報告	11

地区内ロータリアンによる被災地への支援	11
広 告	12
文庫通信 291号	14
ハイライトよねやま 141 紹介	14
会員数及び出席報告(平成23年11月末)	15

2012年1月1日発行

ロータリー理解推進月間

1月



ガバナーメッセージ

ロータリー理解推進月間に 寄せて

2011年～2012年度 RI 第2760地区

まつ まえ けん すけ
ガバナー 松 前 憲 典

ロータリー理解推進月間 Rotary Awareness Month

あけましておめでとうございます。

1月はロータリー理解推進月間であります。RI理事会は毎年1月を標題の月間に指定し、会員にロータリーについての知識と理解を一層深めてもらい、同時に一般市民にもロータリーのことをよく知つてもらうためのプログラムを実施する月間として、1988年1月から実施されています。

ロータリーの目的とサービス Purpose and Service of Rotary

ロータリーでは、社会生活における成功と幸福は、他人に対する思いやりと他人を助けることにあるとして、各自の職業を通じての「奉仕の理想」を目的としております。

そのためには、

1. 広く知り合いを求めて奉仕の機会を多く持つ。
2. 各自の職業に誇りをもって、その道徳的規準を高める。
3. 公私の別なく奉仕の理想を実行する。
4. 理解と友情を国際的にも広める。

という4つの道を掲げております。さらにそのための自分の行動は、

1. 真実かどうか。
2. みんなに公平か。
3. 好意と友情を深めるか。
4. みんなのためになるかどうか。

という“4つのテスト”に照らすようにして決められます。

これは、人のため世のために奉仕することによって得る利益と楽しさを表したものです。これらにしたがってサービスにも、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕の5部門があり、国際間の留学生交換、児童や青少年の保護養成、身体障害者、天災飢餓に悩む人々、そのほか各種の一般社会・地域社会施設等への援助を行います。



また、自分や他人との職業上の相互関係も円満にして、共存共栄を促進させる努力を続けております。そのための話し合い、すなわちクラブ例会には必ず出席して、クラブ運営や相互親睦を図るクラブ奉仕を怠ってはならないことになります。

ロータリーの原点を考えるとき、單に人類に対する愛だけではなく、この世に生きとし生けるもの全てに対する愛の心を忘れてはならないのであります。即ち、真の環境保全や公害予防にも配慮することが大切であります。

ロータリーの創立と目的（ロータリーの歴史）

20世紀初期のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道徳の欠如が目につくようになっていました。ちょうどそのころ青年弁護士"ポール・ハリス"はこの風潮に耐えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼できる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリー・クラブという会合を考えました。ロータリーとは、集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものであります。

こうして1905年2月23日に、シカゴ・ロータリークラブが誕生しました。それからは志を同じくするクラブが次々に生まれ、国境を越えて、今では世界200以上の国と地域に広がり、クラブ数は34,000、会員数は1,216,000人に達しています。そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリー(RI)と称します。

このように歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのであります。その組織が、地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて幅広い奉仕活動が求められるようになり、現在は多方面にわたって多大な貢献をしています。

追悼記念週間（1月27日を含む1週間）Remembrance Week

1947年1月27日は、ロータリーの創始者ポール・ハリスの命日です。1989年10月～11月の理事会において、毎年この1月27日を含む1週間を、物故ロータリアンの冥福を祈り生前の貢献を記念する週間として「追悼記念週間」と指定しました。

チャーター便で飛ぼう バンコクへ

バンコク世界大会へチャーター便を企画！2760地区皆様の参加希望者をクラブ単位でお知らせください。

2011～12年度 2760地区ガバナー 松前憲典 地区国際奉仕委員長 佐藤文昭

2012年5月にバンコクで開催される世界大会に参加チャーター便の準備を考えています。

しかし、ある程度のメンバー数が集まらなければ飛行機を飛ばすことができません。

このチャーター便については5月5日土曜日の出発で5月10日木曜日帰国で考えておりますが、詳細に関しましては各クラブ会長様宛2011年12月16日に発信しております。

多数の利用者があればそれなりのメリットがございます。内容を至急ご覧いただき、1月17日の締め切りまでにクラブ単位でのお申し込みをお待ちいたしております。

問い合わせ 地区国際奉仕委員会 委員長 佐藤文昭 090-3254-1502
地区世界社会奉仕委員会 副委員長 杉浦敏夫 090-3569-5873



⑥ロータリー理解推進月間によせて⑥

善き仲間と共にクラブ活性化を

2010・2011 R I 研修リーダー 中 村 靖 治

謹んで新春の御慶びを申し上げます
皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします
本年もよろしくお願ひ申し上げます

ここにマザー・テレサの言葉があります。
(世界平和のために何をしたらいいのかと聞かれて)

「あなたの家族を大切にして下さい。この世で最大の不幸は、戦争や貧困だけではありません。人から見放され、自分は誰からも必要とされていないと感じることこそが最大の不幸なのです。また、銃や砲弾が世界を支配してはいけないのです。世界を支配していいのは、愛だけなのです」。

マザー・テレサ(愛する為に)

2012年の新年を迎えた2760地区の皆様方に於かれましては、益々御健勝のことと心からお慶び申し上げます。地区大会・指導者育成セミナーではお世話になりました。次年度会長・幹事の皆様との研修に於いては、素晴らしい出会いを頂きました。心から感謝申し上げます。

さて、今年度も上半期が経過し、クラブで掲げた目標を具体化する時が近づいて参りました。御承知のように、今年度R I 会長、カルヤン・バネルジー氏の強調事項は「家族」・「継続」・「変化」を唱えられました。特に「家族」を強調する理由はロータリー活動においての基盤は「家族」にあり、ここから始めてこそ、人々の地域社会全体を通じて、世界をより良くしていくことが出来ると述べています。マザー・テレサの言葉と重なります。

1月はロータリー理解推進月間(Rotary Awareness Month)であります。

ロータリーを楽しむにはロータリーを知ることが必要です。「親睦」と「奉仕」のバランスのとれた活動は、ロータリーを理解することから始まると言われています。ロータリーに入会し、ロータリーを知ることなく、ロータリーを語らずして、ロータリーから去っていく人をどのように、ロータリーに止めるかを私達の大きな課題とすべきでしょう。

今、ロータリーを取り巻く環境は目まぐるしく変化をしています。また、多くの世界環境の危機に対しても、どのように向き合っていくのかと言う問題も私達ロータリアンの課題として求められています。「世界平和」・「理解」・「親善」という、ロータリーの恒久の理念を追い求めたこの言葉を「超我の奉仕」の心をもって、積極的に活動していくことも私達の責務であります。

ロータリー理解推進月間にあたり、クラブとしての戦略(長期計画)を見直し、再構築して頂ければ幸いです。

是非、クラブ活性化の為のプロセスを立案し、実践に移して下さい。

クラブの効率的な運営がされてこそ、地域社会への奉仕活動が活発化し、会員の維持が可能になり、効果的なクラブとしての存在感が増すことになります。

その為には、クラブの査定、評価、つまり クラブの現状を棚卸することが重要な鍵となります。

クラブの現状を把握して、何が不足しているか知ることが戦略計画の基本です。この棚卸計画が立案されましたら、次は「奉仕の実践」となります。

奉仕の実践を成功裡に進めることこそが「力強いクラブ」・「効果的なクラブ」として価値あるロータリーの誕生となります。

年頭にあたり皆様方の益々の御活躍を御祈念いたします。

「永遠の友情と限りない奉仕の心を抱いて」



2011～12年度 IM(Intercity Meeting)開催予定

分区 (ホストクラブ)	開催日および開始時刻	場所
南尾張分区 (東知多RC)	2月18日(土) 13:30 新会員研修会 15:00 式典	名鉄グランドホテル
西尾張分区 (一宮北RC)	3月3日(土) 15:30 受付開始 16:00 式典	名鉄ニューグランドホテル 7階
東尾張分区 (岩倉RC)	1月29日(日) 11:30 受付開始 13:00 式典	名鉄犬山ホテル
西名古屋分区 (名古屋名南RC)	2月21日(火) 15:00 新会員研修セミナー 16:00 式典	名古屋 マリオットアソシアホテル 16階「タワーズボールルーム」
東名古屋分区 (名古屋千種RC)	2月14日(火) 15:00 受付開始 16:00 式典	名古屋東急ホテル 3階「バロック」
東三河分区 (豊川IRC)	2月5日(日) 11:00 受付開始 12:00 式典	豊川稻荷 妙巌寺
西三河中分区 (豊田RC)	2月18日(土) 9:30 受付開始 10:30 式典	名鉄トヨタホテル 7階 金扇の間
西三河分区 (安城RC)	2月19日(日) 13:30 受付開始 14:00 式典	ホテルグランドティアラ安城



6 國際ロータリー第2760地区 地区大会を無事終えて

2011年～2012年度 RI 第2760地区
まつ まえ けん すけ
ガバナー 松 前 憲 典

RI第2760地区2011～12年度の地区大会は、11月19日(土)20日(日)、ウェスティンナゴヤキャッスルで「**こころの中を見つめよう 博愛を広げるために**」というRIのテーマを中心に盛大に開催されました。

RI会長代理の今井鎮雄ご夫妻をお迎えし、多くのロータリアンとご家族そして新世代奉仕で活躍している若者も多数参加して、2,832名の登録となりました。ホストクラブ名古屋瑞穂ロータリークラブが約2年前より準備にかかり、高村地区大会実行委員長、高須ホストクラブ会長、遠山大会幹事を始めクラブ会員全員の献身的なご尽力で、成功裡に終えることができました。

今井鎮雄RI会長代理は、1920年生まれの満91歳でおみえですが、背筋はピーンとまっすぐ伸び、大変お元気なお方でした。カルヤン・バネルジーRI会長とは同期の元RI理事であり、昵懇の仲で、豊富なロータリー歴とすばらしい人生経験をお持ちでした。今井氏は、これからロータリーの進め方について解説され、「地区大会にご出席の皆さまは、“なぜロータリーを選んだのか”を今一度思い起こし、他者への奉仕の思いを日々の活動の原動力としてください。」とカルヤン・バネルジーRI会長のことばを述べられ、感銘深き現況報告をされました。

本大会は、温かい雰囲気の中で、会員の研鑽と親睦、交流の場となりました。地区テーマは「会員増強とクラブの活性化」、サブテーマとして「社会貢献をする」「人生をゆったりとおおらかに生きる」を掲げさせていただきました。会員増強なくしてロータリーの未来はありません。2760地区は、何としても会員数5,000名を突破して、ロータリーの組織強化とロータリー財団の活動を活発化させることが肝要であります。

第1日目の特別講演、田母神俊雄氏は「世界情勢と日本の進むべき道」と題して約1時間、我が国が直面する問題点などを指摘し、「各国が自国の利益のために行動するのは当然のことであり、日本も自分の国を自分で守ることに尽くさなくては将来はありえない。」と話し、“自主防衛”的必要性を説かれました。また第2日目の記念講演は、名古屋RCのロータリアンでJR東海の相談役の須田寛氏が「観光とりニア中央新幹線」と題して、「リニア新幹線は、日本が世界に誇る次世代の扉を開く輸送システムであると同時に、環境に優しい輸送機関となっている。また新幹線と観光は密接な関係があり、沿線地域の開発に大きな役割を果たすことになる。」と述べられました。両講演ともに大変好評がありました。あと16年長生きして、リニア中央新幹線に乗りたいものです。

その他にもアトラクションとして「コール・ロータリー名古屋」・「聖霊中学校・高等学校聖歌隊」の皆様による合唱や、RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会には、元ロータリー財団奨学生のソプラノ歌手手垣真希さんをお迎えし、日本調のなつかしい歌を披露していただくなど、楽しい晩餐会となりました。全員で「手に手つないで」を歌い、心ひとつになることができました。

最後に、地区大会の企画・運営に取り組んでこられた名古屋瑞穂ロータリークラブの実行委員会を始めホストクラブの会員の皆様、終始努力下さいましたガバナースタッフの皆様、そして参加して下さったロータリアン並びに家族の皆様に心から感謝申し上げ、御礼のあいさつとさせていただきます。



⑥ 地区大会を終えて⑦



地区大会実行委員長 高村博三
たかむらひろかず

2011年11月19日～20日の2日間、国際ロータリー第2760地区2011～2012年度地区大会が好評のうちに無事終了できましたことを喜んでおります。

R I 会長代理としてお迎えしました国際ロータリー元理事の今井鎮雄氏(第2680地区・神戸西RC)を始めとして多くのご参加を頂きました。会員2,617名、同伴者34名、その他ロータリーファミリーの皆様181名、合計2,832名の参加を頂き心より有難く厚く御礼を申し上げます。今井鎮雄R I 会長代理から、バネルジーR I 会長がロータリー運動に長く携わられた中で描いてこられたロータリアンの信念「心の中をみつめよう」は、人間としてどのように生きるかを真剣に考え、ロータリーの原点に戻って分かち合う心を持ち、「共に生きる」を覚悟しようではないかと、呼びかけられているお話を頂きました。

大会第1日目は、斎藤直美ガバナー年度からスタートした地区指導者育成セミナーには中村靖治氏(第2770地区・吉川RC)同席のもと、奥深い解説で今後の奉仕活動についての指導をして頂きました。

午後からの本会議の特別講演は、第29代航空幕僚長 田母神俊雄氏の【世界の諸情勢と日本の進む道】と題して時代に即応した話から将来において私達国民が考えること、行動すべきことを判りやすく説明して頂きました。

大会第2日目の記念講演は、J R 東海株式会社相談役 須田 寛氏に【観光とリニア中央新幹線】と題して将来の観光と交通手段を考えるうえで時代に即応したお話を頂きました。

R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会のオープニングは、元ロータリー財団奨学生で現在はソプラノ歌手として活躍中の下垣真希氏を迎える、日本の古き良き歌声で感動を得ることができました。

最後に、名古屋瑞穂ロータリークラブの会員全員が役割を持って地区大会の成功に向けて邁進して参りました。当初「友愛の広場」についてのご説明が行き届かず、多くのご意見、ご質問をいただきましたが、結果としてご満足を頂けたことと思っております。

最後にR I 会長代理 今井鎮雄氏、松前憲典ガバナーのご指導に感謝を申し上げますとともに、参加して頂きました地区内のロータリアンのご協力に対して心より深く感謝を申し上げます。有難うございました。


⑥ ガバナーのミニ挨拶 ⑥

ガバナーのミニ 田 中 正 規

明けましておめでとうございます。昨年11月20日の地区大会で、壇上で紹介していただいたガバナーのミニの田中正規です。その前の年の晩秋に西三河にガバナーをと、分区のガバナー補佐と西尾クラブの前会長から熱く説得され、"ところでん"のごとく押し出されました。薄学非才の私がと悩みましたが、"ロータリアンはノーと言わない"と諸先輩の教えにて、特攻隊の気持で出てきました。地区の経験はロータリー財団に所属したこともあり、違和感はありませんが、なにぶん大きな組織でありますので不安感があります。

幸い所属の西尾ロータリー会員の皆さんのがんばり不懈で、心強く思っています。

松前ガバナー、千田エレクトから学んでいるところです。ロータリーの会員減少は日本だけでなく、まだ少し時間があるので、ロータリーの魅力を今少しづつ整理しています。何事も経験が大事と思い、とりあえず5月のタイの国際大会に出席しますので、2760地区のロータリアンの皆さんお会いしたら声を掛けてください。

⑥ 2012~2013年度 第2760地区 ガバナー補佐のご紹介 ⑥

敬称略

南尾張分区	すぎ 杉	うら 浦	さぶ 三	ろう 郎	半田ロータリークラブ
西尾張分区	はつ 服	とり 部	たか 孝	ね 根	稻沢ロータリークラブ
東尾張分区	お 小	はら 原	ひさ 久	かず 和	名古屋城北ロータリークラブ
西名古屋分区	おお 大	はし 橋	しょう 昭	じ 治	名古屋名駅ロータリークラブ
東名古屋分区	いの 井	うえ 上	まさ 雅	ゆき 之	名古屋昭和ロータリークラブ
東三河分区	まつ 松	い 井	あきら 昭		田原ロータリークラブ
西三河中分区	ほん 本	ま 間	つよし 毅		岡崎南ロータリークラブ
西三河分区	か 加	とう 藤	りょう 良	ほう 邦	碧南ロータリークラブ



おしらせ / 第1回 地区内広報・雑誌委員長会議報告



地区広報委員長 はさま 研 伸夫 のぶ お

11月8日、第2760地区広報・雑誌委員長会議を松前憲典ガバナー、河村金明ガバナー補佐、森俊一郎地区副幹事のご出席を賜り、開催いたしました。

松前憲典ガバナーからは、近年、ロータリー広報の重要性は、ますます重要性が増しつつあり、積極的な広報活動を期待しているとの励ましのお言葉をいただきました。

本会議では委員会の活動状況報告と「ロータリーの友」地区委員報告、および、出席者が10グループに分かれて「クラブ例会の進め方」「会員増強活動」について情報交換を行いました。

地区広報委員会の方針は、ロータリーとロータリアンの魅力を広く社会に伝えることによって、ロータリーの公共イメージを高める事。および、各位クラブ間の連携の強化に貢献することです。これによって、会員増強に寄与できるものと考えています。

今年度は次の3項目の活動を行っています。

①ロータリアンの素晴らしい人間性を知っていただくために、中部経済新聞社のご協力を得て、ロータリアンの寄稿文「私とロータリー」を掲載してきました。そして、今年10月には100回を超ました。

②ロータリーの活動を知っていただくために、一般の人にも分かりやすいパンフレットを作り、各クラブに活用をお願いしてきました。今後、順次改定していきます。

③2760地区のクラブ間の相互理解を深めるために、クラブ間の情報交換を進めて行きます。

本年度からは地区HPに広報委員会のページを新設しました。今後、順次充実していき、内向けの広報、外向けの広報について、各クラブとマスコミ関係に有効活用を呼び掛けて行きます。

また、「ロータリーの友」河村地区委員からの要望がありました。①ロータリーの友はR I認定の刊行物です。②日本の全てのクラブ会員はロータリーの友を購読する義務があるため、各クラブは、会員人数分は必ず購入していただきたい。③「ロータリーの友」はただ単に読み物としての雑誌ではない。ロータリー会員の参考書としての活用を推奨します。

おしらせ / 地区指導者育成セミナー報告



地区研修委員長 せき ぐち むね お 関 口 宗 男

地区大会第一日目の午前、10:00～11:45迄、会場星雲の間で「地区指導者育成セミナー」が地区研修委員会主催で開かれた。

当日は今井R I会長代理、松前ガバナー、地区幹事、ガバナー補佐7名、各クラブ会長エレクト78名、次年度幹事76名、研修委員17名、合計181名の参加がありました。

委員長の司会のもと、松前憲典ガバナーのご挨拶、次いで講師のR I第2770地区パストガバナー、R L I ファカルティリーダー中村靖治様の紹介後講演に入りました。

演題は「ロータリー・リーダーシップ研究会(R L I)について」で内容はまず、R Iの長期(戦略)計画。ロータリーの使命であるキーワード「世界理解、親善、平和」。ロータリー活動の理念の基盤となる中核となる価値観、「奉仕」「親睦」「多様性」「高潔性」「リーダーシップ」等について話された。

次いで、ロータリー・リーダーシップ研究会(R L I)はアメリカから始まったもので、話を聞くだけだと8%、見て話して、論議すると80%心に残るというデータのもと、ロータリアンの指導力開発を目的とした「R I多地区合同プログラム」であること。

R L Iは講演や講義の形式は避けて、一般的には主役は皆様方であり、1グループ10数名がコの字型になり、ディスカッションリーダー(D L)がファシリテーター(進行役)を務め、参加者相互が発言する対話式を基本とする研修であること。

研修の基本コースは、基本的にはパートI、パートII、パートIIIからなり、各コース50分1日6セッション行うこと。

研修が終了した時は修了証書とRLIピンが授与されること。又ロータリーをより深く研修する「卒業コース」もある等、R L Iについてパワー・ポイントを使用して具体的且つわかりやすくご教授され1月から始まる第2760地区第1期R L I研修会に向け、大変充実した意義あるセミナーとなりました。

おしらせ

2011～2012年度 国際ロータリー第2760地区 第3回地区諮問委員会報告

日 時:2011年11月19日(土)A.M.11:00～ 場 所:ウェスティンナゴヤキャッスル「ル・パレ」

いし	はら	とし	ひさ
地区副幹事	石原	稔	久

出席者

今井鎮雄RI会長代理	福田浩三P. D. G.	盛田和昭P. D. G.	加納 泉P. D. G.	神戸政治P. D. G.
石川和昌P. D. G.	松本 宏P. D. G.	内藤明人P. D. G.	野村重彦P. D. G.	福田清成P. D. G.
豊島徳三P. D. G.	大島宏彦P. D. G.	斎藤直美P. D. G.	江崎柳節P. D. G.	片山主水P. D. G.
田嶋好博P. D. G.	松前憲典D. G.	千田 毅D. G. E.		

オブザーバー

長谷川正己地区幹事 柳澤幸輝次期地区幹事 石原稔久地区副幹事
高村博三地区大会実行委員長

報告事項

1. 地区大会関連各委員会報告の件
 - ・大会登録委員会
 - ・大会信任状委員会
 - ・大会決議委員会
2. 地区指名委員会 指名状況の件
3. 地区大会における表彰の件
4. 地区大会における席次の件
5. 2012～2013年度 第2760地区組織図の件
6. 2012～2013年度 地区主要行事に関する件
7. 第40回ロータリー研究会の件
 - ・全体スケジュール
 - ・ご出欠およびご宿泊手配状況
8. 次年度地区大会のご案内に関する件
9. R Y L A学友会(仮称)設立に関する件
10. 東日本大震災支援に関する件
 - ・前年度義援金の報告
 - ・本年度義援金について
 - ・東日本大震災支援プロジェクトチームについて
11. その他



おしらせ

第1回 ガバナー補佐会議開催報告

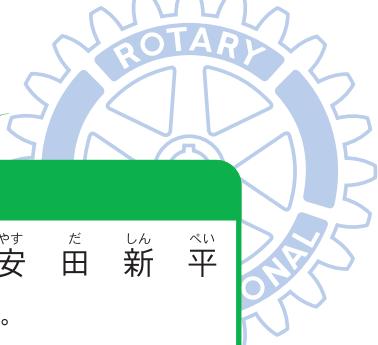
日 時:2011年12月9日(金)P.M.4:00～
場 所:名鉄グランドホテル

冒頭 松前憲典ガバナーから出席者に対して、ガバナー補佐訪問を始めとする上半期のご尽力に対し謝意を表明するとともに、下半期のさらなるご協力のお願いがありました。続く片山主水地区研修リーダーの挨拶の後、議事に入りました。(議事参照)

松前ガバナーによる公式訪問終了報告、長谷川正己地区幹事による地区大会終了報告の後、各ガバナー補佐からはガバナー補佐訪問を終えての所見が述べられ、今後のあり方について熱心に意見交換がされました。各分区で予定されているI. M. の概要について、それぞれの担当ガバナー補佐から紹介が行われた後、長谷川地区幹事より諸事連絡がされ閉会いたしました。

議事 ① ガバナー公式訪問終了報告 ② 地区大会終了報告 ③ ガバナー補佐訪問終了報告
④ 各分区I. M. について ⑤ 次年度ガバナー補佐専任について





おしらせ／犬山RC創立50周年記念式典報告



犬山ロータリークラブ会長 安田新平

本年、犬山RCは、創立50周年を迎えました。
私達は、周年の意義を「チャーターメンバー始め功労会員の業績を称え、地域に感謝すること」と捉え、「奉仕を重ねて50年社会に感謝し 未来を創る」の標語のもと、諸行事に臨んで参りました。

先ずは、11月4日のアニバーサリー・イブ(例会)を皮切りに翌11月5日はメイン行事の一つである記念式典及び祝宴を挙

行致しました。

当日は、松前憲典ガバナー、東尾張分区河村金明ガバナー補佐始め10RCの会長幹事の皆さん、姉妹クラブである台湾・草屯RC及び友好クラブであるオーストラリア・アシュモアRCの皆さん、そして犬山市内及び扶桑町内の関係各位をお迎えして総勢160人のセレモニーと成りました。

記念式典においては、犬山市と扶桑町に記念品の目録贈呈、財団及び米山への特別寄付、功労会員の表彰等を行った後、松前ガバナー他からお言葉を頂戴致しました。

翌11月6日は、アグネス・チャン氏をお招きし、広く地域の方々を対象にした記念講演会（演題「みんな地球に生きるひと」）を開催致しました。当日、講演会場では、「福祉フェア」と名付け、各種福祉団体による製作品の発表展示会、販売、活動のPR等を行って頂きました。

以上、周年の諸行事は、お陰を持ちまして無事終了することが出来ました。携わって頂きました全ての方々に、心より感謝を申し上げ、報告と致します。

岩手東海新聞 2011年4月23日掲載記事

地区内ロータリアンによる 被災地への支援

春日井ロータリークラブの山口さん



戸田市長㊨に手渡す大船渡西RCのメンバー=大船渡市役所

愛知県名古屋市に本社があるフルハシEPの山口昭一取締役名誉会長はこのほど、大船渡市に対して東日本大震災義援金として1,000万円を寄付した。『飛鳥II』の乗船客

A black and white portrait of a man wearing glasses and a dark shirt.

山口さん

業を主な業務としているほか、山口さんは春日井ロータリークラブの会員。昨年10月、アの会員。日本郵船の『飛鳥Ⅱ』に乗船し、大船渡港で初めて1泊寄港する日程が組まれた日本一周のツアーラーを楽しんだ。

この時、市挙げての歓送迎に感動した山口さん。とくに出港時に岸壁で黄色いハンカチを振り続ける光景が忘れられないといい、東日本大震災で被災した大船渡や乗船時に交流があつた関係者を気にして、かけていた。一日も早い復興を願い、大船渡西ロータリクラブに義援金を寄託。同クラブの新沼福三会長や齊藤俊明氏、濱守豊秋氏らが19日に市役所を訪れ、現金1000万円を戸田市長に手渡した。市による援金で、個人では最高額という。



1841年、初代豊島半七が「綿屋半七」という屋号で織維問屋を起したのが、豊島の始まりです。以来、百七十年の歴史の中で、時代の変化に応じて事業領域を拡充し、現在では原料・原糸から最終製品まで、総合的に取り扱う織維商社として発展を遂げることができました。伝統から変革・発展へ。これからも、変化の激しいマーケットを冷静に捉え、そのニーズに熱意をもってチャレンジしつづけることが、私たちの使命だと考えます。

▲ 豊島株式会社

本 店 一宮市せんい 2 丁目 5 番 11 号 0586-76-7561
 名古屋本社 名古屋市中区錦 2 丁目 15 番 15 号 052-204-7711
 東京本社 東京都中央区日本橋富沢町9番10号 03-3661-1070
 浜松支店 浜松市中区砂山町 335 番地 4 053-454-4131



情熱。

綜合建築・鉄骨工事・リース建物 名古屋建商株式会社

代表取締役 千 田 豪

営業所 名古屋市千種区今池南29番23号
TEL (052) 733-0666(代)

工 場 小牧市藤島字居屋敷24
TEL (0568) 77-7538

生涯を通じて美味しく食べよう！

健康は口から
歯を大切に

森 歯科医院

森 榮

まごころと笑顔 やすらぎと癒しをお届けしております
パーティー・ウェディング・イベント・セレモニー等の司会者・人材の派遣・企画運営

株日本バンケットプロモーション

厚生労働大臣許可 (般23-02-0483)

国際ロータリー第2760地区
2011-2012年度 地区RCC委員会
委員長 松崎 美都子
名古屋守山ロータリークラブ所属

〒450-0002
名古屋市中村区名駅3-9-13
TEL052-562-1311 FAX052-562-1312
E-mail info@nbpro.co.jp

人材派遣業

株式会社 プラスワン

代表取締役 加 藤 恭 章

〒491-0354 愛知県一宮市萩原町朝宮744番地
TEL (0586) 68-5314
FAX (0586) 69-5990

一般・業務用パン製造販売
愛知県学校給食パン・米飯委託工場

株式会社 東海パン

代表取締役 長谷川 正 己

〒491-0005 愛知県一宮市西大海道字宅美8番地
電話(0586) 77-3230

文庫通信 291号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

◎「米山記念館と東京ロータリーカラブの協力関係」
宮本四郎 2011 2p (米山梅吉記念館館報)

◎「今、ロータリー・ルネッサンスのとき」
関場慶博 2011 10p (D.2530地区大会記録)

◎「親睦Fellowshipについて」
本田博己 2011 2p (ロータリーの力)

◎「ロータリーの職業奉仕と日本の伝統的実業倫理」
安平和彦 2011 12p (D.2500地区大会報告書)

◎「歴史に残る1ページ:『ロータリ一年度』の由来」
RI 2011 1p (国際ロータリー・ニュース)

◎「ロータリーの奉仕活動について」
前川昭一 2011 5p (D.2720地区大会記録)

◎「歴史に残る1ページ:研究グループ交換のはじまり」
RI 2011 2p (国際ロータリー・ニュース)

◎「歴史に残る1ページ:会場監督」
RI 2011 1p (国際ロータリー・ニュース)

◎「財団が『ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金』を設立」
RI 2011 2p (国際ロータリー・ニュース)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日



ハイライトよねやま 141

1. 寄付金速報 — ご支援のお願い —

11月までの寄付金は前年同期と比べて4.5%減、約2,900万円減少の6億800万円となりました。普通寄付金が1.9%減、特別寄付金が5.9%減でした。米山月間の10月は寄付状況に回復傾向がみられたものの、11月は再び伸び悩み、直近10年間では単月・累計額とも、過去最低額となりました。12月は例年、特別寄付金が1年間で最も多く納入される月です。今年も残り半月近くとなりました。奨学事業を継続していくために、今後もご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2. ガバナーエレクト・次期米山委員長の合同セミナーを開催

2012-13年度ガバナー(ガバナーエレクト)と次期地区米山記念奨学委員長を対象としたセミナーを12月1日・2日、都内で開催しました。1日目は、ガバナーエレクトと次期地区米山委員長の合同セミナーを開催。「今こそ、留学生支援！」をテーマに、講演や卓話、フォーラムを通じて情報の共有を図りました。2日目は、次期地区米山委員長セミナーとして、奨学事業への理解促進と寄付増進に向けたより具体的な取り組みについて、グループ別討議を行いました。師走の到来とともに、次年度の米山奨学事業もスタートを切りました。

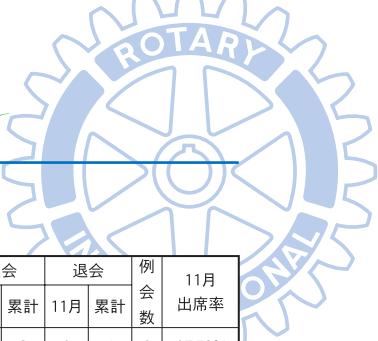
3. より活発な学友会活動を目指して —韓国学友会総会—

長らく活動が低調だった韓国米山学友会は2010年5月、体制を一新して再スタート。そして11月19日、新体制となって2回目の総会が、ソウルで開催されました。当日は約30人の学友が参加し、総会では各種報告に加え、新会員を増やすためのホームページの活用と、他の学友会との交流を進める方針も決定しました。

ハイライトよねやま

検索

URL:<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>



会員数及び出席報告（平成23年11月末）

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	11月 出席率
		2011年 7月1日	2011年 7/1女性	2011年 11月末日		11月	累計	11月	累計		
南尾張分区	半田	65	3	66	3	0	1	0	0	3	96.84%
	常滑	45	0	46	0	0	1	0	0	3	90.90%
	東海	49	2	53	2	1	6	0	2	4	98.58%
	東知多	23	1	23	1	0	0	0	0	3	89.59%
	半田南	43	1	44	2	0	1	0	0	5	94.90%
	知多	23	0	22	0	0	0	0	1	3	96.97%
	大府	17	2	17	2	0	0	0	0	3	88.89%
	7RC	265	9	271	10	1	9	0	3		93.81%
西尾張分区	一宮	85	0	89	0	0	6	1	2	3	98.34%
	津島	73	4	72	4	0	1	1	2	4	99.62%
	尾西	22	1	22	1	0	0	0	0	4	95.45%
	一宮北	38	0	38	0	0	0	0	0	4	99.22%
	稻沢	53	0	54	0	0	1	0	0	4	89.01%
	あま	81	1	82	1	0	2	0	1	4	97.31%
	名古屋清須	37	1	34	0	0	0	1	3	4	89.52%
	尾張中央	32	0	34	0	0	2	0	0	4	90.99%
	一宮中央	49	8	47	7	0	0	0	2	4	95.21%
	9RC	470	15	472	13	0	12	3	10		94.96%
東尾張分区	瀬戸	57	3	59	3	0	3	0	1	4	96.04%
	犬山	69	0	69	0	0	0	0	0	5	98.12%
	江南	49	2	50	2	0	1	0	0	3	95.31%
	小牧	36	2	37	2	0	1	0	0	4	93.97%
	春日井	49	3	51	3	0	2	0	0	4	99.51%
	尾張旭	29	2	30	2	0	1	0	0	4	96.67%
	名古屋空港	50	1	55	3	3	5	0	0	3	98.04%
	瀬戸北	70	7	70	7	0	1	0	1	4	100.00%
	岩倉	18	2	18	2	1	1	0	1	5	97.78%
	名古屋城北	32	3	32	3	0	0	0	0	4	97.87%
	愛知長久手	23	4	23	4	0	0	0	0	5	95.41%
	11RC	482	29	494	31	4	15	0	3		97.16%
西名古屋分区	名古屋	177	0	191	0	1	14	0	0	5	90.44%
	名古屋西	98	0	102	0	0	6	0	2	3	91.70%
	名古屋南	120	0	122	0	0	2	0	0	4	93.36%
	名古屋みなど	71	0	71	0	0	2	0	2	3	96.86%
	名古屋東南	76	9	82	9	1	6	0	0	4	82.97%
	名古屋中	129	0	133	0	1	4	0	0	4	97.75%
	名古屋瑞穂	63	0	67	0	0	4	0	0	3	100.00%
	名古屋大須	59	4	60	5	0	3	0	2	3	94.70%
	名古屋栄	81	0	82	0	0	1	0	0	3	96.13%
	名古屋名南	59	6	63	7	2	4	0	0	5	95.58%
	名古屋名駅	79	6	89	6	0	10	0	0	4	98.59%
	名古屋丸の内	45	4	47	4	0	3	0	1	3	95.38%
	中部名古屋みらい	28	9	28	9	0	0	0	0	4	73.15%
	13RC	1,085	38	1,137	40	5	59	0	7		92.82%

クラブ	平均
平均出席率	82
	94.66%

地区内クラブ数 82 RC	2011年 7月1日会員数	4,809名	内女性 167名	増加会員数(累計)	178名
	11月末会員数	4,938名	内女性 172名	減少会員数(累計)	49名
	11月平均出席率	94.66%		差引純増会員数(累計)	129名

11月	入会	退会	純増
	18名	7名	11名



「名古屋城(名古屋市)」



伊勢音頭に「尾張名古屋は城でもつ」と歌われているだけあって、名古屋城は豪快にして有美な名城である。新年の表紙を飾るのは名古屋城がふさわしいと思い、描きに出かけたのは冬には珍しく暖かな日であった。スケッチのポイントを探すのに、お濠を一回りしようと歩きはじめた。しばらくして絶好のポイントが見つかった。描きはじめるとギャラリーが集まり、紙や絵の具など何を使っているのかなど聞かれる。近頃、絵画教室へ通う人が増えたようだ。最近、名古屋城の周辺を伊勢のおかげ横丁と並んで賑わいの街づくりをしようという計画が持ち上がっているという。古(いにしえ)の良さを活かし、活力を取り戻す拠点になることを願い筆を運んだ。

石原ミチオ

国際ロータリー第2760地区 2011-2012年度ガバナー事務所

〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目15番15号 豊島ビル3階
TEL.052-203-2760 FAX.052-253-5730
E-mail governor11-12@rotary2760.org

年末年始事務所休暇 12月28日(水)～1月4日(水)